

令和7年度 仮係数による事業納付金と標準税率について

1 令和6年度 保険税率での予算額と調定額について（検証）

● 事業費納付金と保険料収納必要額（清須市）

令和6年度国保運営協議会時の見込	事業費納付金計	…	1, 813, 790千円	①
	市町村に交付される公費	…	347, 403千円	②(減算)
	保健事業等保険料で賄う給付…		29, 785千円	③(加算)
	保険料収納必要額（軽減前）	…	1, 496, 172千円	④(①-②+③) A
	保険料調定必要額（軽減前）	…	1, 571, 939千円	⑤(A÷95.18%) B
予算	軽減対象総額	…	166, 180千円	C
	滞納繰越・歳出還付等	…	22, 613千円	D
	税率・収納率不足分 赤字補填分	…	151, 594千円	E
	令和6年度予算額調定見込み…		1, 295, 310千円	
	税率改正(軽減後)した調定に、 本市ルールによる収納率(92.72%)			
実績	令和6年度予算額（一般）	…	1, 201, 011千円	F
	(基準日 R6.10 末・5年度所得 一般分+退職分)			
	令和6年度調定額（軽減後）	…	1, 307, 680千円	G
	本市の収納率92.72%を乗じた令和6年度収入見込み			
			1, 212, 480千円 H (G×92.72%)	
結果、予算に対し、0.95%(11,469千円 F-H)増加の見込みとなる。				

県の示す標準的な収納率

$$A-C+D-E=F$$

被保険者見込み
10, 518人



被保険者実績
10, 588人
(ほぼ見込み通り)

● 税率比較

	所得割	均等割	平等割
	応能割 (%)	応益割 (円)	
令和5年度	10.95	48, 100	31, 600
標準保険税率 (R6)	12.63	54, 380	34, 857
令和6年度	11.80	51, 500	33, 400

2 県の示した事業納付金について

令和6年11月20日、仮係数による国民健康保険事業費納付金等の試算結果及び標準税率（一般分のみ）

(1) 事業費納付金と保険料収納必要額（清須市）

①事業費納付金	…	1, 723, 776千円	(基本)
		対前年度比	【△90,014千円】
②市町村に交付される公費	…	346, 161千円	(減算)
			【△1,242千円】
③保健事業等保険料で賄う給付…		29, 120千円	(加算)
			【△665千円】
④保険料収納必要額(軽減前)	…	1, 406, 735千円	a
			【△89,437千円】
⑤保険料調定必要額(軽減前)	…	1, 475, 493千円	(a÷95.34%) b
			【△96,446千円】 【+0.16%】

県の示す標準的な収納率

(参考)R6年度税率での調定額(軽減前) … 1, 436, 799千円 f

(資格基準日 R6. 11. 1 一般分)

$f \times (9,964/10,150) = 1,410,470f'$

改正税率とした場合の調定増加分 (b - f') 65, 023千円

(2) 県の示す標準税率にした場合の被保険者一人当たり保険税額

令和6年度現行税率 f ÷ 被保険者数(10,150人) = 141, 557円

令和7年度標準税率 b ÷ 被保険者数(9,964人) = 148, 082円 【+6,525円】

(令和7年度被保険者見込み9,964人【△186人】)

● 標準税率

	所得割	均等割	平等割
	応能割 (%)	応益割 (円)	
令和6年度	11.80	51, 500	33, 400
標準保険税率 (R7)	12.38 前年度対比【+1.03%】	54, 859 【+3,359】	33, 723 【+323】

3 令和7年度税率見込み

法定外繰入の見直しは、赤字補填の解消を当初目標では、令和5年度としていたが、目標を達成することができなかったため、新たな目標として、令和7年度までに赤字補填を解消することとしました。

令和6年度の税率（所得割・均等割・平等割）

$$R5 \text{ 現行税率} + (\langle R6 \text{ 標準税率} - R5 \text{ 現行税率} \rangle \div 2) = R6 \text{ 改正税率}$$

令和7年度の税率は、昨年度と同様のルールに基づき、標準税率とする。

$$R7 \text{ 標準税率} = R7 \text{ 改正税率}$$

仮係数による試算	所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
令和6年度税率A	11.80	51,500	33,400
標準保険税率(R7)B 令和7年度 税率見込	12.38	54,859	33,723
医療給付費分	7.32	31,418	20,396
後期高齢者支援金等分	2.64	11,182	7,259
介護納付金分	2.42	12,259	6,068

上記の改正税率見込みで賦課した場合の保険料調定額（軽減前）

1,479,679千円 g [f' ⇒ g = 69,209千円増額見込]

一人当たり保険料（9,964人）・・・@148,502円

4 軽減後調定比較（令和5年中収入による）

令和6年10月末現在

1,246,619千円 ÷ 10,150人 = 122,819円

令和7年度改正後見込

1,283,203千円 ÷ 9,964人 = 128,784円

(年+5,965円増・月+497円・+4.8%)

収納率見込み【本市ルールによる収納率（92.87%）】当初予算

1,191,708千円

5 被保険者の状況

資料 A-2

令和6年10月末 10,150人、6,915世帯

令和7年度見込 9,964人、6,561世帯【△186人、△354世帯】

上記減少に伴い、予算見込みで、△23,413千円となる。

(※R5 年中収入を元に R7 税率で賦課し、人数減少分として)

6 医療指数と一人当たり所得金額

- 医療費の水準(年齢調整後)は、全国的には平均を下回るが、県内では高い

	医療費指数(全国平均:1)		
	令和4年度	令和5年度	伸び率
愛知県平均	0.912742425	0.922599573	101.08%
清須市	0.938497470	0.964358390	102.76%
順位(54市町村)	12/54	3/54	県内において依然と高い水準にある

- 一人当たり所得金額は、県平均を上回っている。(増加額は小さいが順位は変わらず)

	一人当たり所得金額(基礎控除後)(単位:円)		
	令和4年度	令和5年度	増加額
愛知県平均	710,874	723,233	12,359
清須市	738,040	743,590	5,550
順位(54市町村)	23/54	23/54	所得水準は上昇している

7 収納率不足等に伴う事業納付金不足額

1,283,203千円×標準収納率95.34%=1,223,405千円

R7当初予算92.87%=1,191,710千円

理論値 不足額31,695千円 α

- その他、一般会計から赤字補填としての法定外繰入総額(収納率不足分以外)

・出産育児一時金(手数料含む)・・・7,677千円 β

・その他月割計算・端数計算等によるもの・・・4,169千円 θ

まとめ

- 令和7年度は、赤字補填解消計画により、標準税率とする。
- 税率改正による増加率は4.8%となる。(令和6年度は7.5%)
- 県の示す標準収納率に満たないため「収納率準不足市」となっている。
- 令和7年度の赤字補填額は、43,541千円($\alpha + \beta + \theta$)となる。